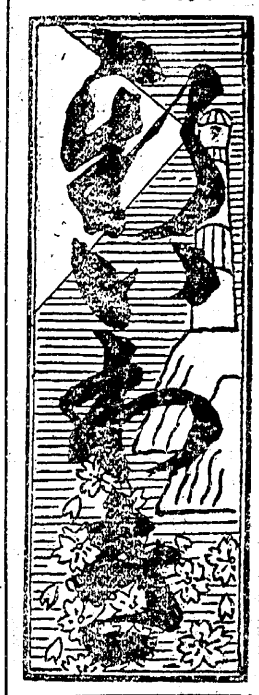
（第三種郵便物認可　昭和五年三月廿一日）　昭和十二年十月二十一日　【日刊】　新いわき　木曜日　第二千百八十四號　（一）

十月二十日　夕刊



日刊但シ日曜祭日並ニ日休刊一ケ月廿五錢
郵税十五錢一部二錢
廣告料　一行四十錢
場所指定　二十錢增
發行兼編輯印刷人　半谷政喜
發行所　福島縣平市大町二三
新いわき新聞社

保健所設置の調査

主務省から本月末頃

醫師會にも大して反對はない　職掌的立場上の自覺から

縣下に唯一つ設置される保健所の最適地に選まれた平市では既報の如く市參事會の同意を得て土屋縣衛生課長の來平に市當局との打合せを終え去る十五日平市の意向を縣當局から內務省に回答したので今月末頃までに主務省より出張建設位置その他に關して調査を行はれる筈であるが右を聞知すると同時に自業の壓迫を早慮し反對を唱ひんとした醫師會側も同じく保健衛生に携はる尊い職掌柄として石城地方の生業態樣には他と異つた炭礦及び漁業生活者その他各種各樣の營業者が現住し之れ等の婦女子幼童に對するもの等研究資料にも乏しくない實狀を一般人よりも深き認識をもたれる筈の立場上同所の設置によつて學び得るものが少なくないであらう考慮から積極的に反對する意向でもなく同所の設置は極めて順調な進捗を見られるものと語られてゐるが該建設位置は舊平淺寄りが適當でないかと唱ふるものが多い樣である

優勝カップの爭奪戰

石城郡鹿島村では村長志賀直哉氏が銃後の志氣を涵養すべく武道カップを作製して昨十九日同村小學校に武道大會を開催し村內各大字から二名づゝの選手出場第一回の優勝カップ爭奪に壯烈な合戰あつたが戰績左記の如く名譽の榮冠は飯田組に獲得されを、

▲劍道團体一等飯田組（十點）二等下矢田（九）點三等久保（九點）四等松久須根（八點）五等米田（八點）六等下藏持（三點）

▲同個人賞一等黑木英泰　二等赤坂五郎　三等蘭部源一

▲銃劍術個人賞一等若松忠一（以上）

平軍事後援會寄附

累計一萬一千五百九十八圓

平市軍事後援會に於て各區に割當てた資金寄附は尙ほ少數の未納を殘してゐるが字中鹽區から左記六十四圓二錢の納入があつたので累計一萬一千五百九十八圓九十二錢に達し銃後人の熱誠なる現狀では遠からず一萬二千圓に及ぶものと見られてゐる

【中鹽六十四圓二錢】八圓吉田甚三郎　六圓二十錢鈴木竹千代　四圓六十錢大和傳右工門　四圓金子金治　二圓九十錢吉田善吉　二圓八十錢吉田吉郎右工門　二圓吉田恒雄　一圓九十錢立澤和義　一圓八十錢大山忠平　大山新次郎　一圓七十三錢矢吹與助　一圓七十錢大山七十司　小泉金作　一圓六十錢大谷弘一　一圓五十錢加藤啓次郎　戶田福之　一圓四十錢大和田數間　一圓三十錢吉田甚一　一圓二十錢鈴木明　一圓十錢地引定義　鈴木勝正　九十錢吉田朝次郎　和田忠男　八十錢矢吹平一　七十錢黑木國一　關塲和一　關塲益一　大和田鶴吉　鈴木榮　六十錢草野義雄　關塲三代吉　吉田忠次郎五十七錢矢吹長一　五十錢山下國之助　三十錢金井久四郎　西山助治　柴野昇　吉田謙治　下藤信吾　八幡善平　二十四錢矢吹初彌　二十錢矢吹政直　頭島義雄　大山忠治　八幡好文　矢吹久義　十五錢大山忠廣　十四錢吉田軍藏　十錢大山一美　九錢矢吹昇平（以上）

溢るゝ熱誠

慰問費と國防獻金

石城郡大野村第二校五年生三十六名は受持訓導高橋金治氏より皇軍の奮戰振りを聽かされて深く感じ相互の自發心から小使錢を持ちより合計四圓二十九錢を得たので內二圓を以て村內出征軍人家族兒童の學用品を求めてこれを贈り殘る二圓二十九錢を皇軍慰問費へ寄贈方を高橋訓導に申出たが職員一同を感激させた、

× × ×

小名濱町成田農事實行組合では此の程軍用乾草四百八十八貫を納入して代金三十六圓六十錢の交付を受けたが該金全部を國防費に獻金した、

× × ×

石城郡下小川村の關塲鈴木采女氏長男博君（二）は今春三年生になつたのを記念に竹筒に貯金して置いた二圓二十錢を去る十八日皇軍慰問費に獻納した

表彰されたる國婦功勞者

平市に於て舊平及び平淺を合する國防婦人會一千六百餘名の會員を結成し去十七日同會支部の發會式を擧行したが同會の席上功勞者として表彰されたる會員は左記の如し

副會長山崎菊子　理事藤田みゑ　樋口しろ　蛭田いさ　佐藤伊太郎　藤田ひさ　樫村こく　猪野きよ　大間喜繁　監事青沼勞以子　四家久米治　書記上村喜吉　班長川崎とく　門傳登美乃　久野ひさ　大和田こと　金成きみ　有賀秀　小野てい　評議員桑原なか　萩原たけの　苦松捷子　區委員佐藤仲子　大谷ぜつ　渡邊みつ　齊藤健子　四家孝子　小針梅子　鈴木きの　笠原ちよの（以上）

常識講座

エーテルは精氣のことだ、之れを化學上ではアルコールに硫酸を混じ蒸溜して得らるゝ揮發性の液体を稱ひ、物理學上では宇宙に充滿する光熱電氣磁氣の現象の想像的媒体を云ふ

海岸の怨濤に水垢離

七日間の戰勝祈願

石城郡勿來町の窪田に鎭座する鄕社國魂神社では同社々司の發願で昨十九日の例祭を差狹む去る十五日から明二十一日に至る七日間同町字九面海岸に午前四時の集合を以て水垢離をとる皇威宣揚と武運長久の祈願を連行し約四十名の水垢離團は前記海岸の怒濤に沐浴潔齋後神社に戻り祈願をこめた後時局講演を聽いて解散してゐるが昨日の例祭は戰勝祈願者その他の參拜に近年にない賑はひであつた

短刀を揮ふ一名に袋叩きが返り打ち

四人組が何れも三週間の負傷

內鄕村白水地內の路上で

石城郡內鄕村の白水鐵炭鑛雜夫東京市神田區生れ永井貞吉（四一）は去十七日午後八時頃同村白水の字入山地內路上に於て同鑛坑夫增子好美（三一）同小室正（三一）同中田登志次郎（四一）同田中正雄（三〇）四名を相手に刄渡り四寸余の短刀をもつて渡り合ひ四人組を滅多打に斬まくり小室には右顏面部折傷その他增子には右肩甲部その他田中は右上脈膊その他中田は右足膝その他に何れも全治三週間の斬刺傷を與へて平署に自首したが喧嘩の原因は當日同鑛青木飯場から應召兵が出立したので之れを見送つて歸つた前記四名が同飯場方の祝酒に泥醉し青木方に寄食する前記永井にも酒を勸めたが自分の出る塲所でないからと謝絕したのを生意氣だと云つたことから其の場は口論のみで濟んだが酒氣に乘ずる四人組は野郎生意氣だから袋叩きにし樣との氣配をもつた歸途たま〳〵永井が所用の途上に見えたので同人も酒氣の上に一旦飯場に引返し右の短刀を携へて兇行の現場に出合つたものであると

平小鐵道問題

正しい叫びで危い所を阻止【三】

地元の請願がごう響いたか

貴院委員會議の問答

平、小名濱間の線は最初この線の豫算を盛つた當時に於ては約三百八十萬圓をかけた小名濱港に物資を出す一つの臨海線と云ふ計畫を以て設計されてゐた其れが青木氏の問ひの如く江名、豐間方面を廻つて小名濱に通ずるやう線路を變へて呉れと云ふ話もあり請願もあつたので前議會に於て採擇になつたのであるが其の當時政府當局としては測量の上研究した上で出來得るならば其の希望に添えたいと云ふ返事をしてある筈で以來何しろ重大な問題であり又經過地點も大分變つてゐるのであるから調査研究の結果比較線との距離建設費收益などを調べ一番安く出來る湯本から小名濱に至るものが適當であると云ふことに省內では決まり此の實測をなすことに一時決定したのであるが其の事が地方に知られ各方面から請願が出て參り其の爲め請願者から適當な材料さへ提供されればそれによつて調べることはまだ工事にかゝる迄には三月も四月もある事故に能く研究して希望に添はうと云ふことを話して置いたのである、それで各方面から陳情と共に提供された參考資料の中には我々としては早くこの事を知らして呉れたならばよかつたものをと思はれるぐらゐ有力な資料も澤山あり今後の實測に共れによる研究調査の上湯本廻がよいか片濱廻がよいか當否を決し度思つてゐる

中堅農女子現地講習

高野のホームスパン

石城郡中堅農民講習生女子部十一名は來る二十三日柴田技手の引率で午前八時內鄕村綴に集合箕輪村高野の緬羊飼養家高萩安吉氏方に於けるホームスパンを見學現地講習をなすと

賍物故買の我妻局送り

石城郡赤井村の西小川字平久田古物商我妻榮藏（六六）が去七月から十月に至る間に於て村內福島炭礦坑夫雜夫支柱夫電工軌道夫等から十數回に亘る鐵類賍品を情を知つて買つてゐた賍物故買は既報の如く同人は昨十九日送局された

百姓までが古鐵泥

立派に暮す身で

石城郡赤井村の西小川字中野地一一農松崎政治（四三）は村內で普通の暮しを立てゝゐる身で去九月初旬同村福島炭礦から重量卅貫價二十圓の古鐵捲齒車を盜み之れを雜木林に隱しておいて隣村好間の下好間字大龜五〇古物商鈴木文三郎長男藤一郎（二七）に情を明かして七圓で賣却し勝一郎氏は平市南町古物問屋木村方へ十二圓四十七錢で賣つたこと發覺鈴木は賍物故買、松崎は窃盜で共に送局された

天氣豫報

今晩は北の風、曇
明日は北西の風、曇（後晴）
（小名濱測候所）

御誂ひも既製品も
高島屋洋服店
平二番三八六

書道用
書狀用
古梅園の墨
文魁文堂
電話313番

農業百科

米貯藏法の虎の巻【四】

河野農林省技手の談

すでにある倉に於ては倉の南側へ木を植えて木陰を拵へてやることは夏季に倉庫内の温度の上昇を防ぐから極めてよい、次に倉の構造方面から云ふと庫内は通風のよいことを最も必要とするために床を高くし地窓とか横窓を充分に設け、屋根にはベンチレーターを付けて換氣を計ることが肝要である、更に屋根であるがこれは二重屋根とし然かも上屋根と下屋根との間は吹き通しにする、かくすれば風は絶えず吹き拔けるので庫内は冷されてゐるから最もよい實例である、また二重屋根でも吹き通しになつてゐないものは温まつた空氣が逃げられないから却つて悪いことになる

軟質米の貯藏には夏季に於て濕度の高い樽結した倉庫で貯藏するが最も禁物であるから何のことはない吾々が住んでも氣持がよい狀態にしてやればよいのである、「ムーツ」とする樣な狀態は穀虫の繁にも極めて都合がよいのである、

（4）貯藏中に於ける病害虫の驅除、

そこで現在に於ける貯藏法ではどうしても病虫害の襲撃から完全に免かれることは出來ないから一度やられたらどうすればよいか極大約を述べる庫に米があれば折ある毎に庫内を立ち廻り損害の少ない内に發見することが肝要である少しでもやられた氣配があればすかさず「クロールピクリン」と云ふ毒ガスを庫内へ撒布して殺菌殺虫に努めねばならぬ。

ガソリン　モビール油
日本石油株式會社
特約販賣
油類屋
關内油店
平市　電話長16
支店　茨城縣磯本驛前　電話長平潟七三
支店　郡山市驛前通　電話長三二八
油類出張所　平町四丁目　郵便局前

看護婦
家族の病氣に使ふ看護婦
電話三〇番

産科　婦人科　院長　木村寅次郎
外科　醫學博士　内木宗八
藥局　藥劑師　大岩俊雄
平市新川町九一
入院隨意　病室完備
木村病院
電話一六四番

便利で經濟な　日下家政婦會の
派出婦を御利用下さいませ
身元確かで品行方正ですから何をお任せしてもご安心です
會員（同志）の御加入を御誘ひ致します
派出なき閑暇に裁縫や編物を御教授致します
平市田町十八（西村屋横町）
日下家政婦會
會長　日下すい子
電話七二三番

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
平市田町　電話五一三番
高久病院
院長　醫學士　高久忠

漢方はりくすり
効能
肩凝、神經痛、腰痛、婦人病、胃腸病、便秘、不眠、高血壓、動脈硬化、中風、癲癇、子宮病、産後の不調、月經不順、不妊、不能、冷感、不感、夜尿、遺精、淋病、梅毒、性病、其他一切の慢性病
モクトーとする漢方藥のみ調製せる秘藥にして之に必らず「平井百藥」共に良く綜合ネル布に伸して使用するのです一回〜と其の効力があらわれ非常に使用する事に付ては何れの有る名藥です、使用法にあり。赤地に黑の文字で生公藥と書いた袋の立て掛るお店が特約販賣所です。
（他に類似品の出て居ますから必ず本品の袋に生公藥と書いてあるお店で求めて下さい）
主効
肺炎、肋膜炎、氣管支、扁桃腺炎、神經痛、腰痛、マチス、風邪、中耳炎、骨膜炎、ちう医、腰痛、冷感、打身、くじき、ねんざ、痔、東傷、火傷、等に効能
定價
四〇瓦入　五十錢
八〇瓦入　九十五錢
四〇瓦五袋入　二圓廿錢
四〇瓦十袋入　四圓
平市五丁目角
山野邊藥局

債券　公債　両替　金融
多田井質店
平市大工町　電話五九一番

◇一般印刷物も御引受致します
新いわき新聞社印刷部

藤沼醫院
七〇五電　平市紺屋町

横山商店
平市仲間町
振替東京一六〇九〇
電話二七一番
債券部
雜貨部

外科一般　内臓外科
レントゲン科　泌尿器科
晝夜診療
北川外科
（血液檢査毎日）
イツデモ入院デキマス
平市新川町二七（電四六四）
醫學博士　北川芳夫
技師　三浦常保

愈々防寒具の御用意を！
秋＝冬＝秋
大人…子供　帽子
新柄　毛糸服
實用　毛シャツ
綿製品
豐富陳列
にツルヤ
平四・電一四〇

平病院（平市元共濟病院跡）電話六四一番
院長　醫學博士　鈴木定藏
内科　院長　醫學博士　鈴木定藏
小兒科
産婦人科　一般外科　皮膚泌尿器科　部長　醫學士　池谷宗三郎
レントゲン科　物理的療法科　部長　醫博士　鈴木定藏
藥劑科　部長　藥劑師　吉本孝平
技師　岡田重德
診療時間……毎日午前八時より午後九時まで　夜間診療に從事す（急患は此限にあらず）
往診隨時、病室完備（自炊の便あり）

和洋銅鐵、金物問屋
釜屋商店
電九・九九